

情報工学科			コンピュータリテラシー				
学年	第1学年	担当教員名	林裕樹、土江田織枝				
単位数・期間		4単位	通年	週当りの開講回数	2回	必修	履修単位
授業の目標と概要		正確なタイピング力を身に付ける。UNIXの基本操作を習得する。GIMPによる描画、tgifによる作図、LATEXによる文書作成、Openofficeのプレゼンツールによるプレゼンテーションの使い方を理解する。ROBOLABキットやNXTキットでグループ実習を行い、テーマに沿った作品作りを通して、ものづくりの難しさや楽しさを体験する。それらの実習報告レポートをHPにまとめることにより情報メディア操作も習得する。					
		釧路高専目標	C:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		毎回の演習で課題をレポートとして提出するので、授業時間内に終わらなかった人は放課後を利用してレポートを完成してもらう。なるべく欠席しないことが望ましい。					
到達目標		ネットワーク環境でのマナーを理解する。エディタの使い方をマスターする。UNIXの基本操作が正しく円滑に行うことができる。タッチタイピングができる。作図、描画、文書作成、プレゼンテーションなどを行うことができる。ROBOLABキットやNXTキットを使いテーマに沿った作品を作ることができる。					
成績評価方法		合格判定:定期試験の平均点が60点以上 最終評価:定期試験の平均点9割、レポート評価点1割					
テキスト・参考書		教科書:「UNIXコンピュータリテラシー」ネットワーク時代の計算機利用とモラル 渡辺成良・若月光夫・織田健 共立出版株式会社					
メッセージ		UNIXの基本操作は何度も繰り返し行くと理解を深めます。実習レポートは提出期限をしっかりと守り提出して下さい。実験室は休み時間や放課後も使用できますので積極的に学習してください。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
ガイダンス(実験室の利用方法)login,logout パスワードの設定(1回) メールの設定、wwwの設定と使い方、マナー、タイピングの練習(1回) エディタの基礎編 日本語入力(1回) 電子メール(1回) エディタの使い方応用編(1)～(3) タイピング(1回) trr UNIX(1)～(4)(4回) 試験前復習(1回)				パスワードを設定し、login logoutができる。 メール・wwwの設定を正しく行い、マナーについて理解できる。タイピングソフトtypistの使い方を理解し、タッチタイピングができる。 エディタemacsでファイルを作ることができる。 signatureファイルを作成する。メールによりレポートの提出を行うことができる。 emacsによるファイルの編集を行うことができる。 タイピングソフトtrrの使い方を理解し、正しいタイピングの練習を行うことができる。 UNIXのコマンドを理解し基本的な操作を行うことができる。 問題解法に習熟できる。			
前期中間試験				実施する			
UNIX(5)～(10)(5回) タイピング検定試験の練習(1回) タイピング検定試験(1回) 様々なコマンド(1回) まとめ(1回) GIMPによる描画(5回) tgifによる作図(2回) 試験前復習(1回)				UNIXの便利なコマンドを理解できる。 ビジネスキーボード認定試験について理解できる。 ビジネスキーボード認定試験を受験できる。 UNIXの様々なコマンドについて理解できる。 UNIXのコマンドについて理解できる。 描画ソフトGIMPの使い方を理解し作品を作ることができる。 作図ソフトtgifの使い方を理解し作図できる。 問題解法に習熟できる。			
前期期末試験				実施する			
HPの作成(3回) Latexによる文書作成(2回) Robolab実習(10回)				HTML文書によりHPの作成ができる。 Latexを使って文書作成ができる Robolabの使い方を理解しテーマに沿った作品を完成させ、各グループ毎に発表を行うことができる。			
後期中間試験				実施する			
NXT実習(11回) impressによるプレゼンテーション実習(4回)				NXTの使い方を理解しテーマに沿った作品を完成させ、各グループ毎に発表を行うことができる。 OpenOfficeのプレゼンテーションソフトImpressの使い方を理解し、発表資料の作成を行いプレゼンテーションを行うことができる。			
後期期末試験				実施する			